

園が考える「福祉の専門性」と 「生育歴の意味」について

中井やまゆり園

今後の議論を深めていくために

- 私たちが何を大切にして福祉の仕事をしているのか、ということ話し合いながら意見をまとめてみました。
- このことについて、皆さまのご意見を伺いながら、お一人おひとりへのこれまでの支援を確認していくことを通して、園全体として、足りなかったものが何かを考えたいと思います。

1 園が考える福祉の専門性

「相手を知ろうとする姿勢や態度（過去と現在）」

- ・この人が何を望んでいるのか。
- ・その人が望んでいる生き方は何か。
- ・その人が望む暮らしは。
- ・この人にとっての幸せとは何か。
- ・目の前にいる人の現在に身を重ねる、本人に寄り添う。
- ・苦しみや喜びを理解する。
- ・意思や気持ちを汲み取る。

1 園が考える福祉の専門性

「相手の人生を考えるための経験やスキル（未来）」

- ・ 本人の可能性を信じる。
- ・ 「今」だけではなく「将来」に向けて、ご本人とやり取りや相談をしていく。
- ・ 今だけを見ずに、時間軸を合わせて可能性を考える。
- ・ 現状に疑問を抱く。
- ・ 過去から未来までを共感的に想像する。

1 園が考える福祉の専門性

「支援者としての自分を知り、振り返ろうとする倫理観（過去と現在）」

- ・自分のかかわりを当事者目線から内省的に修正する。
- ・自分の見立てが間違っていないか、間違っていなかったかを振り返る。
- ・内省する、修正する。

1 園が考える福祉の専門性

「支援者としての自分を高めるための知識（未来）」

- ・自己研鑽していく、学び続ける。
- ・自身が持っている知識・技術を活用していく。
- ・自身だけでなく周りの方（多職種）の専門知識を活用していく。

1 園が考える福祉の専門性

「社会への働きかける行動力や実現力（過去を知り現在、未来へ）」

- ・ 周りの人を巻き込み、連携し、調整する。
- ・ その人が幸せになれる地域・社会を作る力。
- ・ 実践していくこと。
- ・ ご家族、園内、関係機関と調整し、実現していく力。
- ・ 切り拓いていく力。

2 生育歴の意味

- 利用者理解を深めるため。
- 適切な支援を提供するため（支援計画、課題解決、次のステージ）。
- 適切な医療を受けるため。
- 次のステージに関わる支援者への情報提供。
- 共感力を高め、相手を一人の人間として尊重できるようになるための必須のプロセス。
- 私たちの関わり方を振り返り、見直していくため。

本日、皆様から頂いたご意見を踏まえ、次回以降の検証に臨みたいと思います。

引き続きよろしく願いいたします。